

Kidswell.Bio

バイオで価値を創造する -こども・家族・社会をつつむケアを目指して-



証券コード：4584

2024年10月 FAQ

2024年11月6日

キッズウェル・バイオ株式会社

お問い合わせ内容

御社の現状課題が、バイオシミラー事業が大きく成長する際の運転資金の確保、外部要因（主に為替）による利益への影響であることは、これまでの開示資料やFAQで理解できました。

一方で、これらを踏まえた御社の必要資金に対する今後の対応策や考え方について、もう少し詳しく教えていただけないでしょうか。BSの市場環境が改善されていることは良いことだと捉えているため、今後の具体的な戦略が気になる次第です。

回答

当社グループにおける主要な資金使途は、人件費等の運転資金（固定費）に加えて、主に①バイオシミラー（BS）事業の原薬製造等にかかる運転資金、②BS第5製品目以降の開発費、③細胞治療事業における臨床開発費用の3点に大別されます。当社グループの持続的な成長の実現に向けて、これらの事業活動のための資金ニーズを満たす必要がありますが、資金効率の改善（運転資金の圧縮、利益率の改善等）、パートナー企業・VCからの資金調達、間接金融の活用拡大等を通じて、株式市場依存からの脱却を目指しています。

- ① 前年度よりパートナー製薬企業との協議を重ねた結果、支払い条件の変更等により、売掛金の早期回収等を実現し、資金効率を大幅に改善しています。また、物価上昇や円安によって大きく増加した製造原価については、原薬供給価格等への反映についても協議が進んでおり、今後利益率・資金効率の改善につながるものと考えています。こういった取り組みについて金融機関にも評価いただいた結果、追加の銀行借入等による資金の調達を実現しています。
- ② 既存バイオシミラー製品の開発においては、1製品につき20~30億円規模の開発投資を実施しており、株式市場からの資金調達を行ってきました。加えて、各製品の成長に伴い増加する運転資金についても、一部を株式市場から調達しています。今後はこのような開発費及び運転資金負担の大きな事業モデルから脱却するとともに、パートナー企業からの資金調達と、カイオム・バイオサイエンス社との協業を組み合わせることで、バイオシミラー事業のより効率的かつ持続的な成長を実現していきます。また、海外市場における事業化を通じて、事業を拡大し為替変動の影響を抑えるため、開発早期から海外市場におけるパートナー候補企業との協議も開始しています。
- ③ ②と同様にパートナー企業との開発費分担に加えて、事業会社との資本業務提携やベンチャーキャピタルからの出資など、子会社のS-Quatreとして独自に資金を調達することで臨床開発を進めてまいります。

KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になれること、こどもが力になれること

本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。